

未来予想図

実話 AさんとBさんの約束

これから記す話は前任校であった実話です。

Aさん（男子）とBさん（男子）は親友で、共通の趣味はテレビゲームで遊ぶことであった。また、志望校はAさんが札幌北高校、Bさんが札幌東高校であった。

受検半年前となった9月、Aさんは「このままテレビゲームで遊んでいたら、受検に失敗するかもしれない。半年間、ゲームを断てば、受検後は、また好きなだけゲームができる。」と考え、ゲームを断つことを決意した。そのことをAさんがBさんへ伝えたところ、Bさんも半年間、ゲームを断つことを決意した。また、「公立入試の翌日には、2人でおもいきり遊ぼう。」という約束も交わした。（公立入試当日の夕方は、塾での自己採点があるため。）

2人は一生懸命に勉学にはげんだ。その努力は、学力テスト総合A・B・Cで成果としてあらわれた。

いよいよ公立高校入試。Aさんは札幌北高校、Bさんは札幌東高校を受検した。

入試翌日、2人は球技で遊ぼうと、近くの地区センターへ足を運んだ。ところが、地区センターは改修工事を行っており、遊ぶことはできなかった。そこで、美香保体育館へ行き、スケートで遊ぼうと考えたのだが、「スケート = 滑る = 不合格」ということで、スケートは縁起が悪いのでやめることとし、Aさんの家でテレビゲームをすることにした。半年間、段ボールにしまい込んでいたゲームを取り出し、2人はゲームをはじめたが、ゲームを断っていた影響で、コントローラーの操作の仕方を忘れてしまっていた。2人は半年前を思い出しながら、ゲームを続行したが、ゲームをやっている、全然おもしろくなかったという。

帰り際に、「明日の放課後は、何をして遊ぼう？」ということになったが、ゲームはつまらないのでやめることにし、Aさんは「高野先生に面白い科学（理科）の話でもしてもらおう。」と提案した。

翌日、AさんとBさんが私のところへ「面白い科学（理科）の話を教えてください。」とやって来た。私は、「入試も終わったのに2人そろってどうしたの？」とたずね、上記のいきさつを知ったのである。

追伸、Aさんは札幌北高校、Bさんは札幌東高校に見事に合格した。中学校卒業後、2人とは連絡をとっていないので、どのような人生を歩んでいるかは不明であるが、おそらく充実した人生を歩んでいることだろう。また、2人の強い友情も継続されていると信じている。

【星槎国際高等学校広島学習センター】＝オープンスクール（対象＝中学生・保護者）

星槎国際高校北広島学習センターのオープンスクールが下記の通り行なわれます。

- ①日時 令和8年 5月23日（土）10：30～（受付10：00～）
6月13日（土）10：30～（受付10：00～）
- ②詳細 「星槎国際 北広島学習センター」で検索のうえ、ご確認ください。
（5月18日現在では、5月23日のオープンスクールについてしか、アップされていませんが、後日、6月13日のオープンスクールについてもアップされると思われます。）
- ③留意 星槎国際高校北広島学習センターの所在地は、北広島市中の沢149星槎道都大学内3号館3階です。

オープンスクールの参加希望者は、星槎国際高校北広島学習センターのHPから各自で申し込みください。（中学校への連絡は不要です。）

【不登校・高校中退生のための合同学校相談会事務局】

＝不登校・高校中退生のための合同学校相談会（対象＝中学生・保護者）

本日、不登校・高校中退生のための合同学校相談会事務局からいただいたプリントを3年生全員に配布しました。

プリントには、6月7日（日）に開催される不登校・高校中退生のための合同学校相談会について記されております。

不登校・高校中退生のための合同学校相談会の参加希望者は、申込不要ですので、開催日時に会場（札幌コンベンションセンター）へ足をお運びください。（中学校への連絡は不要です。）

☉ coffee break 遺伝学における「融合（混合）説」とメンデル

メンデルが遺伝学の基礎を築く以前は「融合（混合）説」という考え方が主流でした。

融合説とは、親の精子と卵に存在する「何らかの液状のモノ」が混ざりあって、両親の特徴が子に引き継がれるという考えです。例えば、背の高い父親と背の低い母親からは、両親がもつ「何らかの液状のモノ」が混ざりあい、中背の子どもが生まれるという考えです。

しかし、この説では説明のつかないことがあります。

背の高い父親と背の低い母親から中背の子どもが生まれ、その中背の子ども同士で子（孫）を生めば更に中背の子（孫）が生まれ平均化されていきます。最終的には世界中のヒトは全員、中背となり、変異（個体差）は生じないのです。

メンデルは、この融合説では説明のつかない、何らかの単位化された粒子状の物質（後に「遺伝子」と命名）が親の形質を決めていると仮説を立てて研究した結果、メンデルの法則を発見したのです。

しかし、メンデルの存命中、この発見はあまり注目されませんでした。その当時はイギリスでダーウィンが「進化論」を出版した直後であり、そのインパクトが大きく社会を揺るがしていたのです。

メンデルの法則が世界中で注目されたのは、彼の死後、16年後のことで、これを「メンデルの再発見」とよんでおります。